

第12回糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和元年8月27日(火) 14時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201.202会議室
- 3 出席委員
教育長 井川 賢一
委員 永野 雅美
委員 靄本 修一
委員 谷口 一之
委員 塚田 京子
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者
教育次長 磯野 茂
こども課 課長 磯野 豊 課長補佐 室橋 淳次
係長 田代 正人 係長 白澤 裕之
こども教育課 課長 泉 豊 参事 富永 浩文
課長補佐 松村 伸一 指導主事 水澤 哲
生涯学習課 課長 小島 治夫 課長補佐 磯貝 恭子
文化振興課 課長 伊藤章一郎 課長補佐 伊藤 伸一
博物館 館長 竹之内 耕
市民会館 館長補佐 猪股 和之
書記 こども課主査 佐藤 恵美
- 6 報 告
報告第 23号 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の課題について
報告第 24号 各課・機関所管事項について
- 7 付議案件
議案第 58号 糸魚川市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について
議案第 59号 糸魚川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について

- 議案第 60号 糸魚川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する
基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に関
する意見の申出について
- 議案第 61号 令和元年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算（第2
号）に関する意見の申出について
- 議案第 62号 糸魚川市立保育園等職員の人事異動について

8 会議録署名委員の指名 1番 永野委員

9 傍聴者 2人

教育長

これより第12回教育委員会定例会を開会する。

2学期が本格的にスタートとなる。学校には、長期休暇後であるため、児童、生徒の様子をしっかりと見守るよう指示をした。また、7月12日までに全普通教室と一部特別教室のエアコン設置が完了している。暑さも和らいだが、気温、湿度の高い日は使用してもらおう。

教育長

報告第23号平成31年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の課題について、事務局の説明を求める。

こども教育課指導主事

（資料に基づいて説明）

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

永野委員

家庭学習の時間が少ない原因が、部活動でなければ、スマートフォンの普及が要因と考えられる。親世代も子どもの頃から使用し、子どもに与える時期も早くなっている。スマートフォンの利用状況を把握し、使い方をしっかり指導してほしい。

新聞を読まない傾向にある。購読しない家庭の増加が要因か。活字離れが学力低下の問題につながるため、対応を考えてほしい。

こども教育課指導主事

スマートフォンなどのデジタルメディアとの関わり方は、中学校区ごとに生徒会やPTAに働きかけ取組を進めている。どの程度、どのような使い方をしているか調査、把握はしておらず、学校に任せているのが現状である。今後、メディアとの関わり方についても、対応を考えたい。また、新聞購読等の状況も把握していないが、学校の図書館司書が3名に増え、各校図書館ごとの環境が整ってきた。図書が整理され、子どもたちの図書館利用も増えた実感している。親しむ環境づくりから取り組んでいきたい。

こども教育課参事

メディア利用は二極化傾向にある。メディアをうまく利用しながら学力向上する子がいる一方で、まったく学習せずメディアに依存する子どももあり、数字で悪い結果が出る。全体的な指導に合わせ、

個別の指導、個に寄り添った指導が必要である。特に中学校は、心配な子どもを家庭ぐるみで支援・指導する必要がある。

また、新聞購読しない家庭が多くある。各校1、2紙、新聞を購読しており、例えば、新潟日報の子ども向け新聞「ふむふむ」や「ふむふむJ」を授業に活用したり、廊下、図書館等に掲示をしながら働きかけている。

齋本委員

1点目、調査結果の点数に一喜一憂することなく、市全体の傾向を把握したうえで、各学校の実態の分析をしてほしい。市の授業改善や地域ぐるみで子どもたちを大切にする取組の成果が、全国比よりも高い結果を出している。また、以前からの課題は、より強調される結果となったが、今後の指導に生かし、議論を深める良いきっかけとなる。

2点目、家庭学習やメディアの課題は、もっと積極的に地域や家庭を巻き込み、全体の共通事項として議論する必要がある。

調査結果の分析及び支援についても、十数年続けている改善計画シートや進捗状況がどのようにチェック、評価されるかを学校現場にも示し、共通理解をもって年間計画への位置づけを再度、意識してもらいたい。

3点目、図書に触れ語り力を高める、本に親しむことは学力向上につながり、情緒面の安定など様々な効果がある。読書や長文読解力向上の取組で、図書館司書の採用拡充を働きかけるとあるが、どこへのものか。さらに全国トップを目指し、みんなで力を合わせ推進、課題解決に取り組んで欲しい。

こども教育課参事

10月9日のコミュニティスクール代表者会・研修会の一貫教育基本計画策定の話の中で、家庭学習とメディアの問題は、地域協働の取組課題として議論があると思われる。

2点目の取組、課題や具体策は各校からあがってくるが、十分に可視化されていなかった。今回、陰山メソッドの取組を指導主事がまとめて可視化し、学校に返すことで、各校の取組の様子、課題が分かり、切磋琢磨して互いに学び合い、高め合う雰囲気が出てきた。それを全国学力・学習状況調査の結果にも生かせるよう考えたい。

3点目、図書館司書は有効に活用できる職員であるため、拡充に向け課内で検討したい。

教育長

学校での課題と家庭での課題は明らかである。その中で家庭での生活リズムの関わりが非常に大きく、もっと踏み込んで対応する必要がある。基本的な方針だけでなく、細かな計画をたて課題を一つ一つ、解決しなければならない。

谷口委員

中学生の自己評価で全国平均を大きく上回る項目の増加は、自己肯定感の高まりであり、自分のことを評価できることはすばらしい。平均正答率は国を下回るが、すぐに数字へ反映することは難し

	<p>い。自分で計画を立て取り組むことは、自分の将来に向かって、学習したい、興味があると考えながら進めること。ある程度、自分で取り組めるようにならないと簡単に数字はあがらない。</p> <p>平均正答率も学校で実態は異なるが、高い子と低い子の二極化がどの学校にもあるのではないか。低い子たちを伸ばさなければならぬ。実態分析をしているが、個々の能力や地域、家庭に関連するため、地域や学校とみんなで子どもの将来を考える雰囲気、関係を築かなければ市全体の数字は上がらない。</p>
こども教育課長	<p>地域、家庭の話、現在取り組んでいる学力改善等の取組み、その後の見直しなど、対応しながら糸魚川市の子どもたちの学力について検討し、進めていきたい。</p>
教育長	<p>中学校の数学は、今年度マイナス3.8であるが、平成30年度にマイナス5.9であるため、マイナスではあるが改善傾向が認められるということによいか。</p>
こども教育課指導主事	<p>数学の活用を問う問題で、昨年度の数学Bと比較するとマイナスであるが改善されているといえる。</p>
教育長	<p>いただいたご意見、ご提言を踏まえ、事務局で再度検討し、また教育委員会で協議もしたい。</p>
教育長	<p>報告第24号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。</p> <p>こども課 所管事項報告 こども教育課 所管事項報告 生涯学習課 所管事項報告 文化振興課 所管事項報告 図書館 所管事項報告 博物館 所管事項報告 市民会館 所管事項報告</p>
教育長 塚田委員	<p>今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p> <p>キャリア教育フォーラムのパネルディスカッションに参加した子どもたちから、糸魚川を考え、とても良い意見が出ていた。これから糸魚川を引っ張る若者が、糸魚川のことを考えていることをうれしく思う。ただ、このフォーラムの対象者が誰だったのか。参加者は学校関係者が多く、もっと地域の人や地元企業、保護者に聞いて欲しかった。お仕事紹介ブースも同じで、子どもたちに十分周知されていないため、工夫が必要である。</p>
こども教育課参事	<p>成果と同時に課題を真摯に受け止める必要がある。糸魚川の明日をつくるのは子どもたちで、それを支えるのは大人、保護者である。保護者を中心に子どもと一緒に参加できるよう企画した。学校職員はキャリア教育推進の研修として参加した。保育園から高校までチ</p>

塚田委員	<p>ラシを配布したが、周知の仕方に改善が必要である。中学生、高校生の考えがいかにより優れ、参加者の強い思いが感じられた、大変有意義なフォーラムであった。次は、いかに裾野を広げていろいろな方に広めていくかが、キャリア教育の発展につながるとアンケートにもその様子が書かれていた。今後に生かしていきたい。</p>
教育長	<p>子どもの願い、思いを現実にするのは地域や保護者、企業の大人だと思ふため、ぜひ地域の人たちも巻き込んでほしいと思う。</p>
こども教育課指導主事	<p>中学生、高校生の発表を地域のみなさんに聞いてほしかつた。糸魚川を考ふる子どもたちがいること、頑張る糸魚川の子どもたちを認識してもらいたい。次回に向け期待したい。</p> <p>「未来の木」として、付箋に糸魚川の未来、将来の夢、未来の子どもたちへの思いを書いて貼ってもらつたブースがあつた。書かれていた内容をまとめて教育委員にも周知してもらいたい。</p>
鶴本委員	<p>「未来の木」については、箇条書きであるが集約した。少し整理し、提示したい。</p> <p>糸魚川市は以前から、キャリア教育を大切に考へ、取り組んできた。今回の教育フォーラムが、今まで歩んできた糸魚川市のキャリア教育でどのような位置づけだつたか。「未来の木」を生かす長期的な展望で参画者を増やし、成果と課題を踏まえて、次回のキャリア教育につなげてほしい。</p>
こども教育課長	<p>今回は、教育懇談会も兼ねていたが、教育懇談会の要素があまり見られず、これまで参画してきた関係者の中には、残念な思いをしている人もいる。これまでの歩みを大切に、広がつた応援の輪をつなぐ働きかけをもっと大事にしてほしい。</p> <p>準備時間が短く、少人数のスタッフでの事業であり、きめ細かなところまで行き届くことは難しいが、その辺を配慮することで雰囲気はずいぶん違ふ。</p>
鶴本委員	<p>今回の教育フォーラムは、子ども一貫教育中の教育懇談会と合わせて実施した。今までの形式と違ふことで、良い部分もあつた。これまでの経過や積み上げを大事にしながら、次回の教育懇談会、教育フォーラムにつなぎ、市民や地域など学校以外にも子ども一貫教育が周知されるようにしていきたい。</p> <p>糸魚川高校1年生の総合的探究学習に参加したが、非常に画期的で、高校生が具体的なデータに基づいた地域の課題を真剣に聞いていた。生徒たちは学び、探究し、地域にフィードバックしていくことで、自分たちの活動が見えてくる。その活動の進捗状況など情報発信は何か考へているか。また、海洋高校や白嶺高校も同様に各学校の課題を受け止め動いていると思うが、その発信はあるか。私たちも参画できる場面があればぜひ、声をかけてほしい。</p> <p>高校3校に、白嶺分校も参加できないか。分校の事情もあるが、</p>

	<p>地域との関わりなど学んだことを地域の人に返したり、一緒になって地域を考える企画はないか、時間がかかるかもしれないが、検討してほしい。</p>
こども課長	<p>情報発信は、取組をどう知ってもらうか、リアルタイムの周知が非常に大事であり、課題だと教育委員会事務局でも話をしている。今年の探究学習が、来年、フィールドワークでさらに深まっていく。活動内容は多くの方にお知らせしたい。</p> <p>「高校3校」は県の高校再編整備計画にあることで使っていたが、白嶺分校についても、校長先生に話を聞いてみたいと思う。</p>
永野委員	<p>すばらしい取組だったが、会場の狭さや、プロジェクター画面の大きさ、メモを取るのにテーブルがなかった点が気になった。配慮があればもっと良いものになるのではないか。</p>
こども課長	<p>狭い会場で150人が勉強するのは、厳しい環境だったと思う。次回はできるだけ良い環境で開催できるよう検討する。</p>
教育長	<p>情報発信については、各高校でもやっているが、糸魚川市からもホームページ、フェイスブック、ツイッターなどを利用し、積極的に全国へ発信していくべきである。そのことで評価も上がっていくのではないか。担当課でも発信の仕方について検討してほしい。</p>
靄本委員	<p>「子どもゆめ基金説明会」はどんな内容か。</p>
生涯学習課長補佐	<p>「子どもゆめ基金」は、子どもが体験活動や学習活動をする団体への国の補助制度である。「妙高自然の家」が窓口となり、昨年の説明会では3、4団体の代表者が参加したが、書類作成が大変であることもあり、新規の申請団体はなかった。補助金により、子どもたちが新しい体験学習を実現できる夢が広がるものであるため、おしらせばん等広報紙でも周知し、多くの方に聞いてもらいたい。</p>
靄本委員	<p>地学団体研究会総会の発表中に25番目のジオサイトと記載されているが、ジオサイトは24とと思っていた。25番目のジオサイトが新しく認定されたのか。また、そこにどんな魅力があるのか。</p>
博物館長	<p>青年会議所が、木浦地区で25番目のジオサイトを目指す活動をしている。木浦地区にある崩山の崖や温泉、伊藤家北前船の資料と結び付けて認定実現を目指している。小河原学芸員が支援しており、その活動内容を学会で発表した。25番目は正式なジオサイトではなく、発展途上ということでご理解いただきたい。</p> <p>青年会議所の活動で様々なデータを示し、25番目のジオサイトにふさわしいものとなれば、ジオパーク委員会で審議し、承認され、正式にジオサイトとなる。現在は調査段階である。</p>
塚田委員	<p>家族と考古館を見学した。館内に、縄文人になりきれの服やネックレス、石斧が置いてあり、記念写真が撮れるブースとなっていた。撮影してみると、どこの方向から撮影しても、背後の人工的な説明看板が入ってしまった。SNSなどを利用し、糸魚川市を全国へ広</p>

文化振興課長補佐	める機会を逃してしまう。工夫をしてほしい。 配慮が足りず、せっかくの機会を逃してしまった。ご意見いただいたとおり、担当と環境整備を検討する。
教育長	これより付議案件に入る。 議案第61号及び議案第62号は予算並びに人事案件のため非公開としたい。
教育長 委員	ご異議はないか。 (「なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め議案第61号及び議案第62号については非公開とする。
教育長	非公開の議案は順序を入れ替え議案第58号から議案第60号まで審議した後、5次回教育委員会定例会開催日、6その他を先に審議したい。
教育長 委員	ご異議はないか。 (「なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め、このとおり進めることとする。
教育長	議案第 58 号糸魚川市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について、事務局の説明を求める。
こども課長	(資料に基づいて説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	それでは採決に入る。議案第 58 号についてご異議はないか。
委員	(「異議なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め、承認する。 原案のとおり承認
教育長	議案第 59 号糸魚川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に関するに意見の申出について、事務局の説明を求める。
こども課長	(資料に基づいて説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	それでは採決に入る。議案第 59 号についてご異議はないか。
委員	(「異議なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め、承認する 原案のとおり承認

教育長	議案第 60 号糸魚川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に関する意見の申出について事務局の説明を求める。
こども課長	(資料に基づいて説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	それでは採決に入る。議案第 60 号についてご異議はないか。
委員	(「異議なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め、承認する。
	原案のとおり承認
教育次長	次回教育委員会定例会開催日 令和元年 9 月 25 日 (水) 14:00 より その他 特になし
教育長	これより非公開とする。
	議案第 61 号 原案のとおり承認
	議案第 62 号 原案のとおり承認
教育長	非公開を解き、これより公開とする。
教育長	以上で第 12 回教育委員会定例会を閉会とする。

15:40 終了